

新斎場建設問題、コロナの下での避難所問題など 市民から多彩な意見・要望



日本共産党議員団が市政報告会

日本共産党議員団は17日、市民プラザで市政報告会を行いました。

この報告会は、6月定例議会が新型コロナウイルス感染症対策が主な議題となり、いろいろな対策が打ち出された議会となったことなどを受けて、市民のみなさんに詳しい状況を報告する機会として設定したものです。冒頭、橋爪団長が参加されたみなさんに挨拶したあと、平良木、上野、橋爪の順に今議会の審議の内容や状況を報告し、各議案に対して党議員団がどのような姿勢で臨んだかを説明しました。

参加のみなさんからは、

- ◇ 新型コロナウイルスの感染拡大に際して、災害時の避難所のあり方が問われている。町内で防災士として活動しているが、どのように避難誘導すればいいのかを行政として明確に出すよう働きかけてほしい。
- ◇ 新しい斎場は民間企業に任せる方式で5千万円安くなるとのことだが、その根拠がわからない。
- ◇ 保育園の民営化が進められているが、どんな法人が引き受けるのか心配だ。また、市の施設を無償で引き渡すのか。
- ◇ 高齢化が進んでおり、公共交通のあり方が問われている。他市ではバスに安く乗れる乗り放題パスが出されていると聞くが、上越でもぜひ実現させてほしい。また、バス路線ももっと病院に通いやすいコースにしてほしい。

◇ 免許返納支援制度が廃止されたが、納得できない。それを含めて高齢者の外出支援制度をもっと充実させてほしい。など、切実な声が出されました。

また、「新型コロナウイルス対策では、ぜひ市民と野党の共闘の観点で、志を同じくする人たちと統一歩調でがんばってほしい」との指摘もいただきました。

いただいたご意見ご要望はさっそく翌日から具体化を開始しました。議会の内外で実現に向けてがんばってまいります。

たった5年での売却は根本的な信頼に関わる 議会も行政も怒り心頭

佐渡汽船のあかね売却方針めぐり議論

市議会文教経済委員会(上野公悦委員長)は16日、委員協議会を行い、佐渡汽船による「あかね売却ジェットフォイル導入方針」について、行政の説明を受けました。

説明によると、「佐渡汽船は、輸送人員の減少による慢性的な赤字を計上している小木直江津航路の収支改善のためとして、現在就航している双胴船あかねを売却し、ジェットフォイル1隻の運行体制にしたいとしている」「その理由としては、あかねの揺れが大きく乗客に不評であること、修繕費や燃料費が予想外に増大していることなどをあげている」とのことです。

この説明に対して議員からは、「この航路は観光振興のためだけの航路ではなく、生活を支える航路であり、そのために当市もあかねの建造にあたっては2億5千万円も負担した。佐渡汽船にはこの航路の重要性を認識した上での計画であるという姿勢が見えない」など、厳しい意見が続出しました。

これに対して行政からも、「我々も同じ思いだ。佐渡汽船に対しては、市からも『たった5年でこうした話になるのは、御社に対する根本的な信頼に関わる』と通告してきた。今回の件は、佐渡市とともに議論していきたい。我々が守るべきは会社なのか航路なのかという議論にもなるだろう」と、一丸となつて対処していく姿勢が示されました。

佐渡市では2つの請願を採択

佐渡市議会の6月議会では、「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書の提出を求める請願」と「後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出を求める請願」の二つの請願が採択されました。これらの請願は当議会にも出され不採択となりましたが、佐渡市では市民の願いをまっすぐに受け止めて採択されました。そして、政府や国会など関係各部署への意見書が、自民党系・公明党系などの会派を含む全会一致で採択され提出されました。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.667 2020年7月26日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))